

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	5-(1)-ア	地域を知り、学びを深める環境づくり	施 策	①多様な学習機会の創出及び提供
			施策の小項目名	○多様な学習活動の充実
主な取組	青少年教育施設の運営充実		対応する成果指標	公民館等の利用者延べ人数
施策の方向	・ 県民が地域の自然環境、歴史、文化等に親しみ、本県の魅力に対する認識を深め、その地域における課題等について主体的に学べるよう支援するため、学校・地域における自然体験学習や読書活動等の多様な学習活動の充実、社会教育指導者等の資質向上等に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
図書館未設置町村において図書館機能をもつ社会教育施設の整備に向けた機運を醸成する。	県	図書館機能をもつ社会教育施設等の整備		
		図書館機能をもつ社会教育施設等の設置市町村数(累計)		
		1市町村(27市町村)	1市町村(28市町村)	2市町村(30市町村)
担当部課【連絡先】	教育庁生涯学習振興課		【 098-866-2746 】	関連URL
				—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況						(単位：千円)			
予算事業名			—			予算事業名		—	
主な財源		実施方法		R5年度 決算額		R6年度 決算見込額			
—		—		—		—			
令和6年度活動内容						令和7年度活動計画			
社会教育関連施設等で一括貸出等のサービスを継続して実施するとともに、各教育委員会に対して既存施設への図書館機能整備に向けた支援を行った。						社会教育関連施設等で一括貸出等のサービスを継続して実施するとともに、各教育委員会に対して既存施設への図書館機能整備に向けた支援を行う。			

活動指標名		図書館機能をもつ社会教育施設等の設置市町村数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
		R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値		28市町村	28市町村	28市町村	2市町村（30市町村）	100.0%	順調	県立図書館の移動図書館、一括貸出、協力貸出サービスを図書館未設置町村の社会教育関連施設において実施した。また、既存施設への図書館機能の整備に向けた情報提供を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

県立図書館の移動図書館、一括貸出、協力貸出サービスを等を社会教育施設で継続的に行う事で図書館未設置町村の読書環境の充実を図った。活動実績が目標値を達成しているため進捗状況は順調とした。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○WebサイトだけでなくSNSも活用した広報活動を充実させる。 ○防災センターなどの設置時に図書館機能を加える助言を行う（久米島町などの事例紹介）	○県立図書館のSNS（X）を活用して移動図書館や一括貸出、協力サービス等の広報を行った。 ○移動図書館を行った際や町村教育委員会との情報交換の際に、図書館機能を持つ複合施設等の情報提供を行った。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	移動図書館の広い世代への周知が必要である。	⑤ 情報発信等の強化・改善	継続してWebサイトだけでなくSNSも活用した広報活動を充実させる。
② 他の実施主体の状況（内部要因）	図書館未設置町村に図書館機能を持つ社会教育施設等がない。	⑤ 情報発信等の強化・改善	引き続き、防災センターなどの設置時に図書館機能を加える助言を行う。（久米島町に加え恩納村、八重瀬町などの事例紹介）

様式 1（主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	5-(1)-ア	地域を知り、学びを深める環境づくり	施 策	①多様な学習機会の創出及び提供
			施策の小項目名	○多様な学習活動の充実
主な取組	社会教育指導者研修会		対応する成果指標	公民館等の利用者延べ人数
施策の方向	・県民が地域の自然環境、歴史、文化等に親しみ、本県の魅力に対する認識を深め、その地域における課題等について主体的に学べるよう支援するため、学校・地域における自然体験学習や読書活動等の多様な学習活動の充実、社会教育指導者等の資質向上等に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県内社会教育関係者が一堂に会し、地域づくりや地域活性化に向けた実践的な取り組みに対する成功事例を学び、社会教育活動と社会教育行政を推進する。	県	多様な学習活動を支える社会教育指導者の養成		
		研修会の開催数(累計)		
		7回	7回(14回)	7回(21回)
担当部課【連絡先】	教育庁生涯学習振興課		【 098-866-2746 】	関連URL
				—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)			
予算事業名		社会教育研究大会		予算事業名		社会教育研究大会	
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度			
				主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	直接実施	309	388	県単等	直接実施	379	
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画			
県大会を令和6年6月7日に開催した。行政説明と市町村事例報告（島尻地区）、講演を行った。				沖縄県社会教育指導者研修会を令和7年6月6日に開催し、行政説明と市町村事例報告（那覇地区）、講演をする。			

活動指標名	研修会の開催数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	8回	8回	5回	7 回（21回）	71.4%	やや遅れ	県大会を開催し、行政説明と市町村事例報告（島尻地区）、講演を行った。6 地区中 4 地区において研修会を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

研修会開催数は、計画値 7 回に対して実績値 5 回である。県大会 1 回、地区研修を 4 回開催した。新型コロナの影響で休会した活動を再開できない地区があり、地区研修会を実施するスキルや経験に課題がある。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○県内や他県の先進的事例や活動体制等について情報を共有する。県や市町村の社会教育委員や社会教育主事が連携し研究大会を行う。 ○対面だけでなくオンラインやハイブリッドのいずれの方法でも開催ができるよう、Zoomや関連ソフトのスキル向上を課内で図る。	○県の研究大会に、文教大学人間科学部人間科学研究科教授の金藤ふゆ子先生を講師として招き「地域学校協働活動と社会教育関係者に期待すること」と題して講演をした。社会教育関係者の役割を学び、これからの社会教育の方向性を考える機会となった。市町村の社会教育委員、社会教育主事と連携し、研究大会を企画、運営した。 ○対面だけでなく、オンデマンド配信をした。研究大会を振り返りで学ぶ機会を確保できた。

様式 1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	社会教育主事や社会教育委員は社会教育を推進する上で重要な役割を担っており、課題解決に向けて主体的に取り組むための資質・能力(ファシリテーション・コーディネート力)が求められている。	② 連携の強化・改善	県内や他県の先進的事例や活動体制等について情報を共有する。県や市町村の社会教育委員や社会教育主事が連携し研究会の運営を担うことで社会教育を推進する資質・能力を高める。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	市町村の中には社会教育活動の停滞があり十分に機能していないところがある。各地区の取り組み状況を発表する機会を設定し、事例報告に学び調査や建議に向けたプロセスを習得する必要がある。	③ 他地域等事例を参考とした改善	県の研究大会において、県外の講師を招聘し、国や各都道府県の最新の動向について学ぶ機会を充実させる。分科会で市町村の事例報告を学び、交流することで、市町村どうしの横の連携を強化する。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	5-(1)-ア	地域を知り、学びを深める環境づくり	施 策	①多様な学習機会の創出及び提供
			施策の小項目名	○社会教育施設の学習環境の充実
主な取組	図書館機能を持つ社会教育施設の整備促進		対応する成果指標	公民館等の利用者延べ人数
施策の方向	・幅広い世代の住民が交流し、その地域の身近な学習の場として多様なニーズに応えられるよう、公民館、図書館、青少年教育施設等の地域コミュニティの核となる社会教育施設の学習環境の充実に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
既存の公民館等に図書室整備を推進するとともに、公民館等社会教育施設に図書室を設置している町村を訪問し、機能の整備・充実が図られるよう支援する。	県,市町村	公民館等図書室の整備		
		図書館未設置町村における公民館等図書室の整備率		
		46%	54%	70%
担当部課【連絡先】	教育庁生涯学習振興課		【 098-866-2746 】	関連URL
				—

様式1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況						(単位：千円)			
予算事業名			—			予算事業名		—	
主な財源		実施方法		R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度			
—		—		—	—	主な財源		実施方法	
						当初予算額			
						—		—	
令和6年度活動内容						令和7年度活動計画			
一括貸出等のサービス実施や横断検索システムの導入に取り組むとともに、既存施設への図書館機能整備を促進した。						県立図書館の一括貸出等のサービス実施や横断検索システムの導入に取り組むとともに、図書館未設置町村の既存施設への図書館機能整備を促進する。			

活動指標名		図書館未設置町村における公民館等図書室の整備率		R6年度			進捗状況	活動概要
		R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値		33.4%	33.4%	33.4%	70%	47.7%	大幅遅れ	県立図書館の移動図書館、一括貸出、協力貸出サービスを図書館未設置町村の社会教育関連施設において実施した。また、横断検索システムを導入するなど、既存施設への図書館機能の整備促進を図った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

県立図書館の貸し出しサービスを実施する事で、図書室整備に向けた気運を醸成できた。活動指標である図書館未設置町村における公民館等図書室の整備率の達成割合は47.7%となっており、各図書館未設置町村に公民館への図書室設置に関する事例等の情報が十分に共有できていないため進捗状況は大幅遅れとなった。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○既存施設でのサービス受入について支援するとともに、公民館等社会教育施設以外にも、地域住民への一般開放している学校図書館の活用など幅広く検討し、情報提供する。 ○図書館未設置町村へ公民館の図書室設置例（与那国町）の情報提供を行う。	○与那国町の公民館図書室の資料等を必要とする町村へ情報提供した。 ○地域住民へ一般開放している学校図書館の活用状況の聞き取り調査を行った。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	図書館機能を持つ、または移動図書館の受入ができる公民館等の施設のない町村がある。	① 執行体制の改善	既存施設でのサービス受入について支援するとともに、公民館等社会教育施設以外にも、地域住民への一般開放している学校図書館の活用など幅広く検討し、情報提供する。
⑥ 他地域等の動向（外部環境の変化）	図書館未設置町村の公民館や複合施設への図書室設置に関する十分な情報が伝わっていない。	⑤ 情報発信等の強化・改善	図書館未設置町村へ公民館の図書室設置例（与那国町）や複合施設（恩納村、久米島町など）の情報提供を行う。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	5-(1)-ア	地域を知り、学びを深める環境づくり	施 策	①多様な学習機会の創出及び提供
			施策の小項目名	○社会教育施設の学習環境の充実
主な取組	青少年教育施設の整備		対応する成果指標	公民館等の利用者延べ人数
施策の方向	・幅広い世代の住民が交流し、その地域の身近な学習の場として多様なニーズに応えられるよう、公民館、図書館、青少年教育施設等の地域コミュニティの核となる社会教育施設の学習環境の充実に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県内6カ所の青少年教育施設において危険箇所や施設の運営に影響を及ぼす箇所の修繕および老朽化した設備や備品等を更新する。	県,市町村	施設や設備等の整備による県立青少年の家の環境改善		
		環境改善を図る施設数(内訳)		
		6施設	6施設(継続6施設)	6施設(継続6施設)
担当部課【連絡先】	教育庁生涯学習振興課	【 098-866-2746 】	関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	青少年教育施設営繕事業			予算事業名	青少年教育施設営繕事業	
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度		
				主な財源	実施方法	
県単等	直接実施	16,064	42,616	県単等	直接実施	18,268
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画		
宮古青少年の家耐震改修工事、石垣青少年の家（体育館）耐震改修工事設計を実施した。その他施設についても老朽化した箇所の修繕等を行った。				繰越となった石垣青少年の家（体育館）耐震改修工事設計を引き続き実施する。また各施設の老朽化した箇所の修繕を行う。		

活動指標名	環境改善を図る施設数（内訳）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	6施設	6施設	6施設	6施設（継続6施設）	100.0%	順調	宮古青少年の家耐震改修工事、石垣青少年の家（体育館）耐震改修工事設計を実施した。その他施設についても老朽化した箇所の修繕や備品の更新等を行った。

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
各青少年の家の老朽箇所の修繕及び老朽化した設備や備品等の更新をすることで、県立青少年の家の環境改善が図られたことから進捗状況は順調とした。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○工程会議等への参加、受注業者への技術的指導等、専門的な知識が必要な部分は、県の土木建築部と連携し、技術面の指導および協力を得る事で工事を円滑に進める。 ○指定管理者へ工事に関する情報を共有し、問題が発生した場合は迅速かつ柔軟な対応をするなど、運営に支障をきたさないよう指定管理者、県関係者、工事受注業者と連携を密にする。 ○工事区域と利用者用区域の明確な区画分け等安全対策を徹底する。また、施設ホームページ等を活用し利用者への周知に努めるとともに、利用申込時に丁寧な説明を心がける等利用者の理解を求める。	○工程会議等への参加、受注業者への技術的指導等、専門的な知識が必要な部分について、県土木建築課と連携し、工事を円滑に進めた。 ○指定管理者へ工事に関する情報を共有し、連携を密にすることで、運営に支障をきたさないよう柔軟な対応ができた。 ○工事区域と利用者用区域の明確な区画分けにより安全対策を徹底した。また、施設ホームページ等を活用し利用者への周知に努めた。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	耐震改修工事や大規模改修工事は通常の修繕と異なり、建築、設備等複数の工事を同時に長期間実施するため工程管理や施工方法の検討等専門的な知識が必要となる。	① 執行体制の改善	工程会議への参加、受注者への技術的指導等、専門的な知識が必要な部分は、県の土木建築部と連携し、技術面の指導及び協力を得ることで工事を円滑に進める。
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	改修工事期間中、断水等により、完全に施設を閉所し利用者の受入を停止する期間が生じる。その場合、指定管理者の運営計画に支障をきたさないよう配慮が必要となる。	② 連携の強化・改善	指定管理者へ工事に関する情報を提供し、問題が発生した場合は迅速かつ柔軟な対応をするなど、運営に支障をきたさないよう指定管理者、県関係者、工事受注業者と連携を密にする。
⑦ その他 (改善余地の検証等)	施設利用者を受け入れながら改修工事を実施するため、利用者の安全確保が課題となる。また、工事の進捗によって、利用時間や活動プログラムが制限される可能性があり、利用者の理解を得る必要がある。	⑦ 取組の時期・対象の改善	工事区域と利用者区域の明確な区画分けを行うなど安全対策を徹底する。また、施設ホームページ等を活用し利用者への周知に努めるとともに、利用申込時に丁寧な説明を心がける等利用者の理解を求める。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(1)-ア	地域を知り、学びを深める環境づくり	施 策	②地域の歴史、文化、芸術に触れる機会の充実
			施策の小項目名	○文化芸術に対する豊かな感性の醸成
主な取組	組踊等教育普及啓発事業		対応する成果指標	学校公演鑑賞後に組踊・沖縄伝統芸能を理解した児童生徒の割合
施策の方向	・沖縄の文化芸術をはじめ、国内外の優れた文化芸術に触れる機会や表現する場等を提供し、子どもたちの文化芸術に対する興味や豊かな感性の醸成に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
組踊、琉球舞踊、琉球歌劇等の本県独自の無形文化財について、鑑賞機会の少ない県内の児童生徒を対象に公演およびワークショップを実施する。□ □ □	県	組踊・沖縄伝統芸能の実演家によるワークショップの開催		
		組踊・沖縄伝統芸能ワークショップの実施回数(累計)		
		3回	3回(6回)	3回(9回)
担当部課【連絡先】	教育庁文化財課 【 098-866-2731 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/edu/bunkazai/madoguchi/sosiki/bunkazai/index.html □

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名		組踊等沖縄伝統芸能普及啓発事業			予算事業名		組踊等沖縄伝統芸能普及啓発事業	
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額		R7年度			
					主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	委託	1,554	1,553		県単等	委託	1,553	
令和6年度活動内容					令和7年度活動計画			
沖縄本島全地域の小中学生を対象に伝統芸能のワークショップ（体験型学習）を3回実施し、郷土の文化財への理解と関心を深めさせる。					沖縄本島全地域の小中学生を対象に伝統芸能のワークショップ（体験型学習）を3回実施し、郷土の文化財への理解と関心を深めさせる。			

活動指標名		組踊・沖縄伝統芸能ワークショップの実施回数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	3回	3回	3回	3回（9回）	100.0%	順調	組踊ワークショップを計画通り3回実施した。内訳は組踊ワークショップが2校（馬天小学校、西原中学校）、沖縄芝居ワークショップが1校（諸見小学校）である。	

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
当初の計画通り、年間で沖縄県内の小中学校3回公演の目標値を達成したため、順調である。小中学生それぞれに対応した体験型学習（ワークショップ）を行った結果、88.5%以上の高い理解度が得られるなどの効果がみられる。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○解説と体験活動のバランスを重視したい。体験活動を通して児童生徒が意欲的に取り組めるようにする。具体的にはセリフの覚えやすさ足体験、音楽体験を行う。○低学年の児童や特別支援学校の生徒でも理解しやすいように、琉球古語の字幕やワークショップのアプローチを委託業者と研究する。 ○ワークショップも実際の組踊鑑賞会に近付けるために、道具等を予算内で作成・活用して興味関心を高め、理解しやすいように工夫する。	○セリフの覚えなどの体験活動を踏み込んだ結果、ワークショップの内容が充実したものになった。児童も楽しみながら積極的にワークショップに取り組んでいた。○琉球古語については、出演者が、字幕を作成し、それを見せながら、わかりやすく説明し、児童生徒らが、覚えの体験を行った。 ○沖縄芝居では芝居で使用する船を2艘作成し、それを活用して実際に出演者や児童らも芝居の体験をすることができ、児童が興味関心を高め、楽しんで体験活動を行うことができた。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	児童生徒がより意欲的に取り組めるよう、解説と体験活動のバランスを重視したワークショップの実施に取り組む必要がある。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	児童生徒がより意欲的に取り組めるよう伝統芸能の解説と体験活動のバランスを重視したワークショップの実施に努める。具体的にはセリフの覚えやすさ足体験、音楽体験などを積極的に行う。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	5-(1)-ア	地域を知り、学びを深める環境づくり	施 策	②地域の歴史、文化、芸術に触れる機会の充実
			施策の小項目名	○文化芸術に対する豊かな感性の醸成
主な取組	文化振興事業費		対応する成果指標	学校公演鑑賞後に組踊・沖縄伝統芸能を理解した児童生徒の割合
施策の方向	・沖縄の文化芸術をはじめ、国内外の優れた文化芸術に触れる機会や表現する場等を提供し、子どもたちの文化芸術に対する興味や豊かな感性の醸成に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
国内有数の芸術団体による舞台芸術鑑賞機会を県内へき地・離島の児童・生徒に提供する。校区や地域、広くは県内・県外に在住する芸術家や技能保持者等を学校に派遣する。	国,県	児童生徒に対する芸術鑑賞機会の提供		
		芸術鑑賞実施校数(累計)		
		70校	70校(140校)	70校(210校)
担当部課【連絡先】	教育庁文化財課	【 098-866-2731 】	関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

沖縄県芸術鑑賞機会提供事業

主な財源

実施方法

R5年度
決算額

R6年度
決算見込額

県単等

委託

588

409

令和6年度活動内容

文化庁による鑑賞機会提供事業を実施した。また、県事業において、渡嘉敷村で音楽鑑賞会を実施した。

予算事業名

沖縄県芸術鑑賞機会提供事業

R7年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

委託

686

令和7年度活動計画

文化庁による鑑賞機会提供事業を実施予定。また、県事業において、離島・へき地での公演を実施予定。

活動指標名

芸術鑑賞実施校数（累計）

R4年度

R5年度

実績値

116校

84校

R6年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

39校

70校 (210校)

55.7%

進捗状況

大幅遅れ

活動概要

文化庁、県、市町村との共催により芸術鑑賞やワークショップ等を実施した。また、離島・へき地の児童生徒に芸術鑑賞提供するため、音楽鑑賞会を渡嘉敷村立渡嘉敷小学校・渡嘉敷中学校において実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

当該市町村教育委員会との連携を図り、本事業を周知した。令和6年度の実績値が前年度と比較すると減少しているが、文化庁主催の芸術鑑賞機会提供事業の基準において「過去2年間に採択された学校の優先順位は低くなる」ことから、令和4、5年度に採択された学校が不採択になっていることが実績値減少の一因と考えられる。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案

反映状況

○学校行事や教育課程との関連性もたせ、市町村教育委員会や学校との連携を強化する。
○県内での実施実績のある芸術団体・個人に働きかけ、学校が希望する日程やニーズに対応できるように支援する。

○芸術鑑賞機会提供事業に応募数の少ない市町村に対して、応募を呼びかけた。
○離島、へき地において、芸術鑑賞機会提供事業の実施を希望する教育委員会、小中学校と連携し、日程調整をすすめた。芸術団体を派遣することで、小中学生が直接、演奏を聴いたり楽器に触れたりできるよう支援を行った。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	本県は、学力向上対策が最重要課題であるため、各学校とも授業時数の確保等が優先される傾向が見られることから、芸術鑑賞を実施するにあたり早期の日程調整が必要である。	② 連携の強化・改善	学校行事や教育課程との関連性もたせ、市町村教育委員会や学校との連携を強化する。
② 他の実施主体の状況（内部要因）	他県に比べても離島が多いことなどから、準備に要する時間や移動時間がかかるため開催回数が限られ、芸術文化に触れる機会がまだまだ足りない。	⑤ 情報発信等の強化・改善	過去、県内での実施実績のある芸術団体・個人に働きかけ、学校が希望する日程やニーズに対応できるように支援する。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	5-(1)-ア	地域を知り、学びを深める環境づくり	施 策	②地域の歴史、文化、芸術に触れる機会の充実
			施策の小項目名	○文化芸術に対する豊かな感性の醸成
主な取組	青少年文化活動事業費		対応する成果指標	学校公演鑑賞後に組踊・沖縄伝統芸能を理解した児童生徒の割合
施策の方向	・沖縄の文化芸術をはじめ、国内外の優れた文化芸術に触れる機会や表現する場等を提供し、子どもたちの文化芸術に対する興味や豊かな感性の醸成に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
本県の中学校や高校の総合文化祭への大会運営費補助や、中学校文化連盟及び高等学校文化連盟が行う派遣費助成への補助を行うことで、文化活動の発表の場を確保するとともに、各分野の技術向上と充実を図ることを目的とする。	県	中学校・高等学校生徒の大会派遣費補助		
		中学校・高等学校生徒の大会派遣費補助人数(累計)		
		2,000人	2,000人(4,000人)	2,000人(6,000人)
担当部課【連絡先】	教育庁文化財課	【 098-866-2731 】	関連URL	https://www.okikoubunren.com/ 、 http://o-chubun.chu.jp/

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

青少年文化活動事業費

主な財源

実施方法

R5年度
決算額

R6年度
決算見込額

県単等

補助

15,827

15,709

令和6年度活動内容

県中学校文化連盟・県高等学校文化連盟への補助金を通して、生徒の文化活動を支援した。

予算事業名

青少年文化活動事業費

R7年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

補助

15,894

令和7年度活動計画

県中学校文化連盟・県高等学校文化連盟への補助金を通して、生徒の文化活動を支援する。また、総合開会式参観など各文化連盟と調整し、連携を図る。

活動指標名

中学校・高等学校生徒の大会派遣
費補助人数（累計）

R4年度

1,743人

R5年度

1,929人

R6年度

実績値 (A)

1,995人

目標値 (B)

2,000人 (6,000人)

達成割合
A/B

99.8%

進捗状況

順調

活動概要

文化活動の発表の場を確保するとともに各分野の技術向上を図るため、県中文連及び県高文連の強化費、大会運営費、派遣費に関する補助を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

県外大会や県内大会への離島生徒の大会派遣費の補助について継続的な支援を行った。年々、県内外大会への派遣補助人数が増えており、目標値に限りなく近づいている。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案

○県内外大会への参加者の経済的負担を減らすため、各文化連盟と連携し、吹奏楽部門や郷土芸能部門等の楽器や小道具等の運搬費補助について支援を行えるよう協議する。□
○離島の部活動生の経済的負担を軽減するため、クラウドファンディングを実施し、大会派遣費補助を拡充する。

反映状況

○県中学校総合文化祭総合開会式への参加において、楽器や小道具等の運搬の補助支援を県中学校文化連盟を介して行った。
○令和6年度にクラウドファンディングで集まった支援金を、離島の部活動生の派遣費補助に充て、経済的負担を軽減を図った。

- 20 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	離島の部活生が県内外大会に参加する際、航空機や船等の利用が必須のため、保護者の経済的負担が大きい。	② 連携の強化・改善	令和6年度にクラウドファンディングで集まった支援金を、離島の部活動生の派遣費補助に充て、経済的負担を軽減する。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	5-(1)-ア	地域を知り、学びを深める環境づくり	施 策	②地域の歴史、文化、芸術に触れる機会の充実
			施策の小項目名	○「しまくとうば」の普及促進
主な取組	しまくとうば学習活動の実施（高等学校）		対応する成果指標	学校公演鑑賞後に組踊・沖縄伝統芸能を理解した児童生徒の割合
施策の方向	・沖縄の文化の基層となる「しまくとうば」の普及促進に向けて、小・中学校や高等学校でのしまくとうば教材を活用した学習活動に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
高等学校におけるしまくとうば学習の推進および関連する情報の周知を図る。	県	高等学校におけるしまくとうば学習活動の推進及び関連する情報の周知		
		高等学校の教育活動におけるしまくとうばに関連する学習活動の実施状況の割合		
		60%	63%	66%
担当部課【連絡先】	教育庁県立学校教育課		【 098-866-2715 】	関連URL
				—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)		
予算事業名 -					予算事業名 -		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額		R7年度		
					主な財源	実施方法	当初予算額
—	—				—	—	
令和6年度活動内容					令和7年度活動計画		
教員に対し、しまくとうば普及センターのコーディネーターの協力を得て、沖縄県立総合教育センターで「しまくとうば実践指導講座」を実施した。					昨年度同様、沖縄県立総合教育センターで「しまくとうば実践指導講座」を実施し、しまくとうばの普及に協力できる教員の資質向上を図る。		
活動指標名	高等学校の教育活動におけるしまくとうばに関連する学習活動の実施状況の割合		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		総合的な探究の時間や特別活動だけでなく、国語、社会、音楽、家庭科等の授業において、しまくとうばに関するさまざまな授業実践が行われた。
	77.9%	69.1%	75.0%	66%	100.0%	順調	

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
目標を上回る75.0%の学校でしまくとうばに関する学習活動が実施され、生徒がしまくとうばを学ぶ機会が確保されており、進捗状況は順調である。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○ しまくとうばを系統的に指導できる教員を育成するため、しまくとうば普及センター等と連携して「しまくとうば実践指導講座」を開催し、教員の資質向上を図る必要がある。 ○ 生徒自らが「しまくとうば」に関連した課題を設定して学習に取り組む探究的な学習や特別活動などを推奨し支援する。	しまくとうば普及センターと連携し、沖縄県立総合教育センターにおいて「うちなーぐち実践指導講座」を実施した。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	県内各地域において話される多様なしまくとうばを系統的に指導できる教職員が減少している。	② 連携の強化・改善	しまくとうばを系統的に指導できる教員を育成するため、今年度も引き続きしまくとうば普及センター等と連携して「しまくとうば実践指導講座」を開催し、教員の資質向上を図る必要がある。
⑦ その他(改善余地の検証等)	高等学校は広範囲な地域の生徒が在籍するため、特定の地域の「しまくとうば」を教えることは難しい。	⑧ その他	生徒自らが「しまくとうば」に関連した課題を設定して学習に取り組む探究的な学習や特別活動などを推奨し支援する。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	5-(1)-ア	地域を知り、学びを深める環境づくり	施 策	②地域の歴史、文化、芸術に触れる機会の充実
			施策の小項目名	○「しまくとうば」の普及促進
主な取組	しまくとうば学習活動の実施（小学校・中学校）		対応する成果指標	学校公演鑑賞後に組踊・沖縄伝統芸能を理解した児童生徒の割合
施策の方向	・沖縄の文化の基層となる「しまくとうば」の普及促進に向けて、小・中学校や高等学校でのしまくとうば教材を活用した学習活動に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
小・中学校の学校教育において、しまくとうばに関する講話会の開催や、授業等で活用するための地域人材派遣について、「しまくとうば普及センター」と連携協力する。	県	「しまくとうば読本」や「しまくとうばの日」など、しまくとうば学習活動に関連する情報の周知及び推進		
		学校の教育活動における、しまくとうばに関連する学習活動の実施状況の割合		
		小学校 84% 中学校 87%	小学校 87% 中学校 89%	小学校 90% 中学校 91%
担当部課【連絡先】	教育庁義務教育課	【 098-866-2741 】	関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)				
予算事業名		—			予算事業名		—		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額		R7年度				
					主な財源	実施方法	当初予算額		
—	—	—			—				
令和6年度活動内容					令和7年度活動計画				
「しまくとうば読本」を総合的な学習の時間等や学校生活での活用促進を図る。読本の活用状況について文化振興課と連携して把握する。					「しまくとうば読本」を総合的な学習の時間等や学校生活での活用促進を図る。読本の活用状況について文化振興課と連携して把握する。				

活動指標名	学校の教育活動における、しまくとうばに関連する学習活動の実施状況の割合		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	82%	96%	91%	小学校 90%	100.0%	順調	各学校でのしまくとうばに関する授業において、「しまくとうば読本」を活用するよう促した。 「しまくとうばの日」を周知するとともに、各学校での実践事例等を紹介した。
活動指標名	学校の教育活動における、しまくとうばに関連する学習活動の実施状況の割合		R6年度				
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	84%	92%	82%	中学校 91%	90.1%		

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
学習発表会、文化祭での取組、給食時間の放送にしまくとうばを活用した事例等、しまくとうばに親しむ環境づくりを行っていることから順調とした。目標達成に至らなかった要因として、地域ごとのイントネーションや言葉の違いがあり正しい指導が難しい、教えるための準備や地域人材等の調整等の時間確保が難しい等が挙げられる。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○しまくとうば読本の活用促進と活用状況の事例提供 ○毎年9月18日のしまくとうばの日について小中学校への周知と取組の促進を依頼	・学校の実態に応じ、学校行事やクラブ活動等で「しまくとうば」を取り入れられるよう具体的な取組事例などの情報を提供した。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	「しまくとうば読本活用状況調査」の結果を踏まえ「しまくとうば読本」の効果的な活用について、学校での利活用が促進されるように検討する必要がある。	③ 他地域等事例を参考とした改善	しまくとうば読本の活用促進と活用状況の事例提供
⑦ その他(改善余地の検証等)	児童生徒が、生まれ育った地域の風土や文化のよさを再認識できるよう、「しまくとうばの日」について、今後も情報共有や周知を図る必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	毎年9月18日のしまくとうばの日について小中学校への周知と取組の促進を依頼